

「こうのとり」4号機(HTV4)のISSドッキング成功について

平成25年8月13日
文部科学省研究開発局

- ◆ 平成25年8月4日、「こうのとり」4号機は、H-IIBロケットにより種子島宇宙センターから打上げ。
- ◆ 8月10日午前3時38分、国際宇宙ステーション(ISS)へのドッキングに成功。



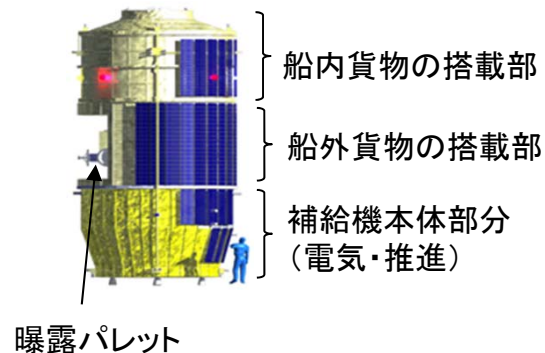
8/4 打上げ



8/10 ISSと結合



9/7 大気圏再突入
＜予定＞



「こうのとり」(HTV)
全長:約10m(スラスト含む)
直径:約4.4m
全体質量:最大約16トン
搭載補給質量:最大約6トン

「こうのとり」の目的

○宇宙ステーション補給機「こうのとり」は、国際約束に基づき、国際宇宙ステーション(ISS)の運用に必要な物資(実験装置、水、食料等)、並びに「きぼう」の運用・利用に必要な物資を輸送する我が国初の国産無人補給機。

「こうのとり」の特長

- ISSに結合中、宇宙飛行士が乗り込み可能な有人対応設計。
- 米国のスペースシャトル引退後は、大型の荷物をISSへ輸送できる唯一の輸送機。
- ISSへ接近するランデブ飛行技術は日本が独自開発したもの。その一部の通信システムは米国のISS輸送機にも採用。



国際宇宙ステーション

「こうのとり」4号機的主要な搭載物資

【船内物資】

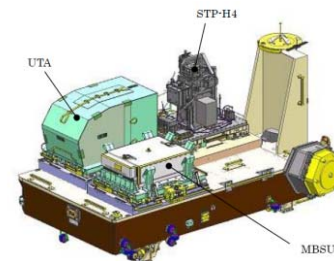
- ISSクルーの食料・衣服・水
- 超小型衛星4機(きぼうから放出予定)
- 「きぼう」搭載用ポータブル冷凍・冷蔵庫
- 4kカメラ(NHKとの共同開発の次世代ハイビジョンカメラ)
- 各種宇宙実験用の装置・試料



ポータブル冷凍・
冷蔵庫

【船外物資】(今回は、すべてNASAの物品)

- NASA実験装置
複数の実験装置(計8個)が搭載された実験ペイロード
- 電力・切り替え装置
太陽電池パドル回転機構の中心部で電力・通信のインターフェイスを行う装置



複数の物資を
搭載した輸送形態